

# 講演概要集原稿の書き方

下記を熟読の上、原稿を作成し、下記締切日までに必ずお送り下さい。

**講演概要集原稿締切：2016年7月25日（月）14時必着**

PDF原稿の送信に際しては次のURLをご覧ください。

<http://www.toyoag.co.jp/jps/index.html>

①講演概要はそれによって予め講演内容を聴講者に徹底させ、(出来上がりサンプル)

質疑応答の便に供し、あわせて講演時間を短くし、かつ来聴できない会員に講演内容を速報するものなので、必ず提出してください。

②原稿は1題目について、画像も含め原稿1枚2MB以内です。(ただし、招待・企画・チュートリアル講演、シンポジウム講演の概要集原稿は、2枚4MB以内です。)

③原稿をワープロソフトで作成する場合、右記、「出来上がりサンプル」を参考にし、

- ・1行目には、タイトル(16ポイントのゴシック(ボールド))
- ・2行目には、所属、氏名(14ポイントのゴシック(ボールド))、姓だけ、あるいは名だけ記載の原稿は受け付けません。
- ・3行目以降には、外国人参加者・留学生等の便宜のために、講演題目、氏名、所属(氏名14ポイントの Times New Roman(ボールド)、所属はイタリック)
- ・本文の文字数の標準は12ポイント明朝体(英数字は Times New Roman)を用いる事が望ましい。その場合、本文の文字数は36字×37行程度となる。

注意1：共同講演者等が多く上記指定行に収まらない場合は、次の行を利用し本文の書き始めが7行目以降になっても構わないが、原稿枚数は②の通り1枚限りなので、本文の長さに十分注意してください。

注意2：その他書式については、英文はJPSJ(Journal of the Physical Society of Japan)、和文は本誌のスタイルに準じます。

④講演番号、ページ数、原稿枠は記入しない事。またPDFファイルにした場合、必要なフォントは必ず埋め込む事。

⑤右記「出来上がりサンプル」のWordおよびtexのサンプルファイルが、<http://www.toyoag.co.jp/jps/index.html>にありますのでご利用ください。

## 講演概要集原稿の書き方

帝都大学理工<sup>A</sup>、日本科技大理工<sup>B</sup>  
瀧川 学<sup>A</sup>、止田次郎<sup>B</sup>

How to Write an Abstract for the JPS Meeting

<sup>A</sup>Dept. of Phys. Teito Univ., <sup>B</sup>Dept. of Phys. Nihon Univ. of Tech.  
M. Gatagawa<sup>A</sup> and J. Tomeda<sup>B</sup>

この講演概要集原稿はワープロソフトWordを使い、ページレイアウトはA4縦で設定している。タイトルは16ポイントのゴシックを更に太く(ボールド)、所属・氏名は14ポイントのゴシック(ボールド)、英語表記の所属・氏名は14ポイントのTimes New Roman(ボールド)、所属はイタリックを用いている。本文は12ポイントの明朝体、本文中の英数字はTimes New Romanを使用している。一行の文字数と行数は、横36字(標準の字送り)×縦37行と設定している。最終判断は著者にあるので、多少の違いはあっても結構である。ただし、

- ・大会名・講演番号・ページ数を入れるため上下にある程度空白を入れる。
- ・タイトル、所属、氏名、英語表記は上記のような配置で記載
- ・講演番号は記載しない。
- ・枠はつけない。
- ・原稿はフォントを埋め込んだPDFの提出。

・1ファイルは2MB以下。  
以上のことは、守って頂きたい。  
実に興味深い講演概要を待っている。

注1：現時点では動画、URLへのハイパーリンクは不可である。

注2：概要集に掲載された原稿の著作権は日本物理学会に帰属する。

注3：Web公開は1年間のみ。オープンアクセスの公開は行わないので、過去の概要集を残したいのであれば記録用DVDの購入を勧める。

注4：概要集原稿の提出には登録番号とパスワードを忘れず、原稿メ用に余裕をもってpdf原稿をWebから送信すること。



図：日本物理学会のマーク。  
カラー図面が掲載できるようになった。